′ 10 同	新たな地域精神保健医療体制の構築に向けた検討チーム
第16凹	

平成23年6月28日

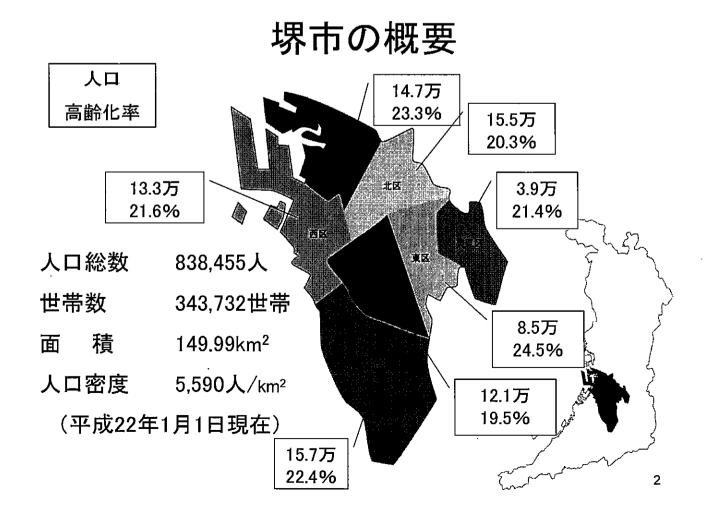
資料

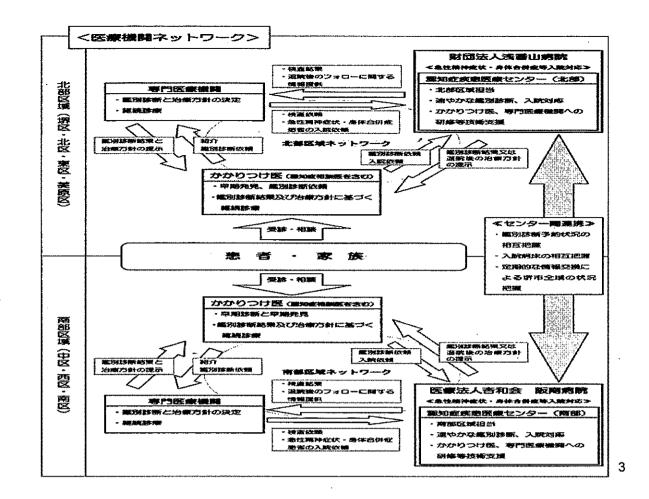
財団法人浅香山病院認知症疾患医療センター

釜江和恵先生提出資料

QuickTimeý C² êLí£ÉvÉçÉOÉAÉÄ ǙDZÇĀÉsÉNÉ" ÉÉÇ%å©ÇEÇŽÇ%Ç...ÇŐïKóvÇ-ÇÁB

財団法人浅香山病院 認知症疾患医療センター 釜江(繁信) 和恵



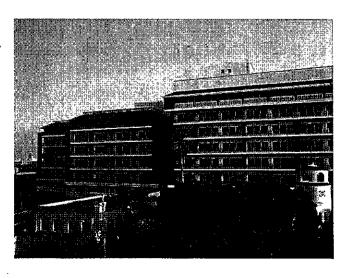


財団法人 浅香山病院 堺市堺区

- 精神科•神経科 948床(17病棟)
 - 認知症治療病棟 120床(60床×2病棟)
 - 精神科身体疾患合併症病床 50床(1病棟)

• 一般科 248床

- 内科(循環器・呼吸器・消化器・腎臓・膠原病)
- 外科
- 泌尿器科
- ・整形外科・リハビリテーション科
- 小児科
- 皮膚科
- 眼科
- 麻酔科
- 放射線科
- 歯科
- ・耳鼻科
- 婦人科



浅香山病院 認知症疾患医療センター事業内容

- 専門医療相談
- 鑑別診断とそれに基づく初期対応
- 身体合併症・BPSDへの急性期対応(外来・入院)
- かかりつけ医等への研修会の開催
- 認知症疾患医療連携協議会の開催
- 情報発信

5

受診の流れ

認知症疾患医療センター 専門相談員 電話での情報収集 ・ 専門医

症状から考えて他施設 を早急に受診すべき ケース

例:脳卒中、脳炎等

・早急にBPSDの治療を 要するケース

・早急に鑑別診断を 要するケース 緩徐な進行でBPSDが 目立たず、鑑別診断を 待機可能なケース

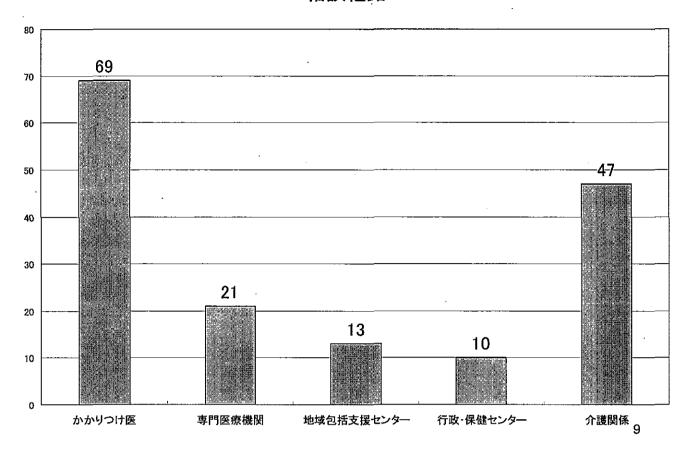
- ・鑑別診断(検査と診察)初診枠は1週間に17枠 そのうち7枠を早急な受診を要するケースのため に直前まで空けている。
- ・既に他施設で鑑別診断がついており、早急に BPSD治療が必要なケースは、鑑別診断を受けた 時のデータを揃えて、精神科の一般の初診で対 応することもある。
- ・相談当日、緊急に診察あるいは入院が必要な ケースは上記とは別に救急当番医が診察を担当 している。

7

浅香山病院認知症疾患医療センター 最近の動向

平成22年10月~12月

- 相談件数 227件→約70件/月
- 鑑別診断件数 163件→約55件/月
- 認知症治療病棟への入院件数52件→約17件/月
- 精神科救急病棟/精神科急性期病棟への入院件数 21件→約7件/月



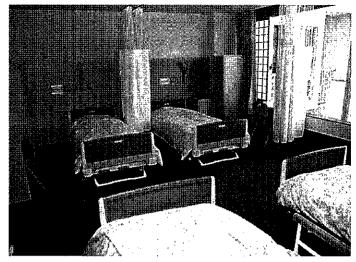
認知症治療病棟

病棟コンセプト

- 認知症に伴うBPSD(幻覚・妄想・夜間せん妄・徘徊等)の症状が著しい認知症患者を急性期から 入院、集中的な治療を提供する。

• 入院治療目標

- 問題となっている精神症状に対して、多職種で治療にあたり、2~3ヶ月での退院を目指す。自宅への復帰と理想とするが、不可能であれば施設入所を勧める。



認知症治療病棟(60床×2病棟)

保護室2床 個室6床 4床室52床



ディルーム



認知症治療病棟

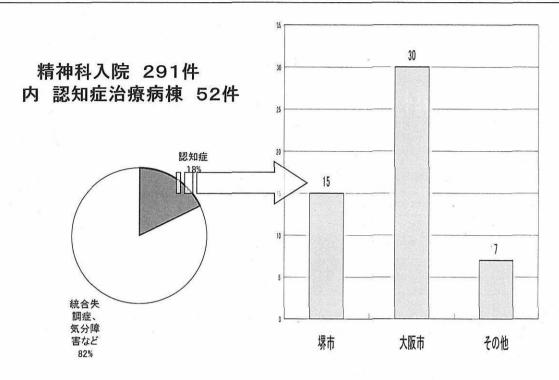
・ 慢性身体疾患の管理

- 病院として精神科病棟入院中の患者用に、内 科・外科・整形外科の外来を2回/週実施

・ 急性身体疾患の管理

- 各精神科病棟に病棟担当内科医師を配置しており、必要に応じて共観医となる。
- 一時的に一般科病棟/精神科合併症病棟に転 棟して治療することもある。

入院者数における認知症患者数の割合平成22年10月~12月



52件中、当科外来で長期フォローしていたのは3件のみ 13 他はすべて、かかりつけ医、ケアマネ、包括支援センター、家族からの入院依頼

認知症治療病棟での治療

医師

BPSDに対する治療

看護師

疾患別ケアの実践 非薬物療法の選定 と実践 作業療法士 生活機能回復訓練

> 臨床心理士 回想法

ソーシャルワーカー

家族支援 退院後の処遇の検討 ケママネとの調整